

中核市移行・市制施行130周年記念 夏季特別陳列①

東京 1964

～ オリンピック展 ～

- 主催 福井市立郷土歴史博物館
- 会場 松平家史料展示室
- 会期 令和元年7月13日(土)
～令和元年8月25日(日)
- 休館日 8月19日(月)

第18回オリンピック東京大会は、昭和39（1964）年10月10日から10月24日までの15日間にわたって開催されました。参加国は93カ国、5,000人以上の選手が参加し、20競技163種目が行なわれました。日本選手団は金16、銀5、銅8個の計29個のメダルを獲得し、参加国中3位という活躍を見せました。また、オリンピックの開催によって競技のみならず、文化や交通、インフラ等を大きく発展させることになりました。

本展では、当館が所蔵するオリンピック東京大会の資料から、その様子を振り返ります。

第1章 松平永芳と東京オリンピック

当館の元館長である松平永芳^{ながよし}（大正4（1915）～平成17（2005））は、福井藩16代藩主松平春嶽の嫡孫にあたります。氏は海軍に長く勤め、戦後は陸上自衛隊に勤務しました。オリンピック開催にあたり、大会組織委員会は、防衛庁（当時）に運営の支援を求めたことから、自衛隊は人員や車両、通信機器、艦船などで大規模な支援を行なうことになりました。それに伴い、氏は近代5種競技の競技役員等の任を受け、事前準備から始まり競技の運営や関係機関との調整など、多種多様な業務をこなしました。スポーツ大会の支援も初めてながら、オリンピックという国を挙げてのビッグイベントということもあり、失敗は許されないというプレッシャーも相当なものであったと思われ、その苦勞が偲べれます。



松平永芳



金・銀・銅メダル（複製）

第2章 福井での聖火リレー

オリンピックの聖火は、昭和39年8月21日にギリシャのオリンピア市にあるヘラ神殿跡で古式にのっとり採火されました。聖火は、ヨーロッパ、アジアを経由して、9月7日に当時アメリカ統治下にあった沖縄に到着しました。そこから4コースに分かれて、全都道府県をリレーしました。



聖火リレーで使用したトーチ



福井市体育館前での式典の様子

福井県には、9月28日に京都府から聖火がもたらされ、29、30日にかけて県内を横断してリレーが行なわれました。福井市では、聖火が到着した29日に福井市体育館前にて盛大な式典が行なわれています。



旧森田町での聖火リレーの様子

第3章 珍品も! 様々なオリンピック関連の品々

松平永芳氏は、自らオリンピック関係の雑誌やパンフレットを切り貼りしてオリジナルのアルバムを作成するなど、非常に几帳面な人で、業務に関連するものを中心に、多くの品々を残しました。公式な冊子類はもちろんのこと、大会組織委員会が使用した各種封筒や関係者の移動に使われた車両用のステッカーなどといったものまで保存しています。

そういったことから、当館のコレクションは他とは一線を画す東京オリンピックコレクションと言えるでしょう。



開会式・閉会式公式プログラム



組織委員会用封筒



公式記録映画「東京オリンピック」パンフレットと特別試写会招待状



駐車ステッカー



競技役員用ブレザーコート

【関連イベント】

ギャラリートーク

令和元年7月13日(土)、27日(土)、8月11日(日)、8月25日(日)
いずれも14:00から40分程度

次回の展示

松平家史料展示室 企画展 「島田墨仙と岡倉秋水～近代福井の日本画家～」

令和元年8月28日(水)～10月8日(火)

松平家史料展示室 展示解説シート No.123
令和元年7月13日発行

福井市立郷土歴史博物館

〒910-0004 福井市宝永3丁目12-1
電話 (0776) 21-0489 FAX (0776) 21-1489
担当 白嶋祐司

印刷 宮本印刷